

2022年3月15日

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022
コベルコ神戸スティーラーズホームゲーム盛り上げイベント
第二弾「ルール解説付き観戦ツアー」
実施報告書

【概要】

主催：特定非営利活動法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構
後援：兵庫県ラグビーフットボール協会
協力：コベルコ神戸スティーラーズ
開催日時：2022年3月12日（土）13時30分集合 14時30分kick off
場所：神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
参加者：20名
観戦エリア：神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 東ゴール裏指定席
解説：山本 大介氏（コベルコスティーラーズ OB）
落田 佳宏氏（関西ラグビー協会レフリーコーチ）

内容：

第6節から交流戦に突入したラグビー「リーグワン」。我らがコベルコ神戸スティーラーズも、後半戦に向け巻き返しの時期を迎えました。そんな熱戦の続く「リーグワン」。コベルコ神戸スティーラーズホームゲーム盛り上げイベントとして、ラグビー初心者や「にわかファン」にも楽しんでいただくために『ルール解説付き観戦ツアー』をご用意しました。参加者20名には、ラグビーリーグワン第9節コベルコ神戸スティーラーズvsブラックラムズ東京の東ゴール裏指定席チケットをプレゼント。コベルコスティーラーズOBの山本大介氏と、ベテランレフリー・落田 佳宏氏を解説者としてお迎えし、分かりやすいプレー解説やルール説明をインカム（近距離無線システム）で聞きながら、スタジアム観戦の醍醐味を楽しんでいただきました。



まずは、会場の総合受付ブースに参加者が集合し、チケット&インカムを配布した後、SCIX 理事・美齊津氏よりインカムの使い方とイベントの流れについて説明。SCIX メンバーが参加者を観戦スペースへ誘導します。18℃を超え上着要らずの好天に恵まれ、春の陽気のイベント当日。グラウンドでアップをしている選手の姿に、一気に気分が高揚します。



参加者全員がシートに着き、美齊津氏より解説のお二人をご紹介。全員がインカムを装着し、いよいよキックオフ。お二人のトークを聞きながらの試合観戦が始まります。「タテ（ゴール裏の席）から見ると空いているスペースがよくわかる」「新しいルールが採用された経緯」など選手目線、レフリー目線の質問や会話が飛び交い、会場でライブ観戦しながら、まるでテ



レビ中継で解説を聞いているかのように、ラグビー観戦をすることができます。そんな中、開始早々の前半 10 分、ラインアウトからドライビングモールで先制し、序盤からペースを掴むコベルコ神戸スティーラーズ。これに当然スタンドも大盛り上がり。イベント参加者も拍手を送ります。

初心者には難しいと思われがちなラグビーのルールやファウルについては、もちろん落田レフリーがハンドやオフサイド、ノックオン、オーバーザトップなど、その都度分かりやすく説明。ラグビー観戦初心者でも楽しく観戦できます。さらには、レフリーの個性や珍しいファウルなどについての解説、元ラグビー選手だからこそわかる選手心理や、おもしろ裏話などラグビー通も満足いただけるトピックが続々飛び出しました。その後もトライを重ね、35-7 とコベルコ神戸スティーラーズの大量リードで前半終了。

ハーフタイムの間に、受付で配布した質問シートを回収し、可能な限り、解説者お二人に質問にお答えいただきました（寄せられた質問は下記）。

- ・ディフェンスシステムはチームごとにどのようにして作るのか？
- ・外国人選手とのコミュニケーションや指示はどうやって行っているのか？
- ・スクラムのファウルの判定基準は？
- ・今期のコベルコ神戸スティーラーズの成績不振の原因は？
- ・監督がベンチに居ないのは何故？
- ・外国人選手の登録人数と出場制限人数は？
- ・トライ後のキックを蹴る位置の決め方は？
- ・前半の攻撃はキックとエリアどちらを選択するのが有利？

後半も勢いが止まらないコベルコ神戸スティーラーズ。終盤、アイザック・ルーカスの好走により連続トライを決められましたが、ホーンが鳴った後のダメ押しトライで 56-21 と再度突き放し、勝ち点 5 を獲得。ホームゲームで勝利を納め、参加者もご満悦の様子。美齊津氏より解説者と参加者の皆さまにご挨拶をしインカムを回収。無事閉幕となりました。ご参加いただいた皆さま誠にありがとうございます



いました。

(レポート 中野里美)



兵庫県ラグビーフットボール協会
Hyogo Rugby Football Union

※本事業は「兵庫県ラグビーフットボール協会」の支援を受けて実施されました。